

事務事業 No./名称	■サービス部門 教育-20 就学事務 □支援部門						
主管課	学務課	関連課	教育指導課・市民課				
分野名	学校教育						
目標 (目標値)	児童生徒の就学に係る事務を適正に行う 経済的に困難な高校生に対する経済的支援を図る						
人口等のデータ	データ区分	24年度	23年度	22年度	備考		
	人口	177,224人	177,204人	177,161人	・各年4月1日 (住民基本台帳)		
	世帯数	79,669世帯	79,217世帯	78,812世帯			
運営資源状況	事業の対象者数						
	決算値(千円)	10,004	9,472	14,816			
	(国・県)						
	(負担金等)						
	(一般財源)	10,004	9,472	14,816			
	人員配置数	1.4	1.4	1.4			
	人件費(千円)	11,218	12,253	12,228			
事務事業運営経費	協働のパートナー						
	総事業費(千円)	21,222	21,725	27,044			
	市民1人当りの経費(円)	120	123	156			
	対象者1人当りの経費(円)						
ベンチマーク (県内外自治体や民間団体との比較値)	団体名⇒						
指標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(27年度)
奨学金の適正金額による執行。高校生への新たな支援。 ◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退	目標値		9,900円	新たな制度設計・実施	30,000円	30,000円	30,000円
	実績値		9,900円	新たな制度創設	30,000円	30,000円	

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

小事業名	H24決算値	評価	適切=○、要改善=△(評価の視点を参照)	⇒ 方向性	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止
就学事務	313千円	①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○	⇒ ■A □B □C □D □E		
	事業の概要	小中学校への就学決定や通学区域等を定める。			
就学支援事業	9,691千円	①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○	⇒ □A ■B □C □D □E		
	事業の概要	県や湘南地区の高等学校校定時制、通信制の教育振興会への負担金の支出。高等学校等への就学が困難な生徒の保護者に対して就学援助金を支給。			
		①効率性   ②妥当性   ③有効性   ④公平性	⇒ □A □B □C □D □E		
		①効率性   ②妥当性   ③有効性   ④公平性	⇒ □A □B □C □D □E		
		①効率性   ②妥当性   ③有効性   ④公平性	⇒ □A □B □C □D □E		

事務事業の課題及び取組状況

H24年度の課題	就学事務については、各学校長、教頭の意見を聞きながら、連絡、連携方法に工夫を加えつつ、指定校変更、区域外就学等の就学事務の適切かつ迅速な対応を図る必要がある。		
課題解決のための取組	就学事務については、校長会や教頭会等を利用し、指定校変更・区域外就学等の考え方を周知するとともに、各学校とは個々の申請についての情報を共有化し円滑な事務処理に務めた。特に、新1年生の就学に関しては、教頭会と綿密な意見交換を実施し円滑な事務処理を行った。	取組の結果	■解決 □未解決
未解決の課題	転入等に伴う就学における就学通知書の交付は市民課及び各支所で行っているが、市民課の住基システムの見直しが予定されており、今後、就学通知書の交付をどのように変更していくかが課題となっている。		

中事業の評価と今後の方向性

中事業の評価	適切=○ 要改善=△ (評価の視点を参照)	①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○	今後の方向性	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止	※□事業完了
			就学事務については、今後とも適切かつ迅速な対応を図るため、学校関係者とも協議のうえ、連絡、連携方法等、意思疎通の徹底と相互理解が得られるよう努めていく。また、住基システムの見直しに伴う就学通知書の交付についての課題は、関係課かいと協議を行い適切な交付ができるように調整を行っていく。	↓ A	課長等名 学務課担当課長 廣川 智久

## (2面) 個別事業の評価

(単位:千円)

小事業名	ザイムスコード	個別事業名	24年度予算	24年度決算値	評価⇒適切=○、要改善=△(1面の評価の視点を参照)			
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
就学事務	主な個別事業	1128 就学通知用消耗品費	165	129	○	○	○	○
		1128 卒業証書等印刷製本費	149	184	○	○	○	○
就学支援事業	主な個別事業	1176 湘南地区高等学校定時制教育振興会負担金	126	126	○	○	○	○
		1176 高等学校等就学援助金	10,800	9,540	○	○	○	○
	主な個別事業							
	主な個別事業							
	主な個別事業							